

令和2年度(2020年) 《第10号》

貞香会 会報



2020 TEIKOKAI Annual Report

年頭雑感



会長 赤平泰処

今年は、干支で辛丑（しんちゅう・かのとうし）の年です。丑の字は手の先を曲げて何かをつかむ形を表した象形で、十二支の二番目、丑三つ時（午前二時頃）などにしか使用されない文字ですが、蘭亭序の「永和九年歳は癸丑に在り」で誰もが臨書するところに丑の字があり、臨書した人も多いのではないのでしょうか。この丑には、古くから動物の牛の字をあてています。牛は角のある牛の形そのものです。

牛の文字の入った語句には、牛歩、牛飲馬食、対牛弹琴などがあり、今年によく使われています。書作してみたい句に「鉄牛」の二字があります。黄河の水をしずめるためにつくられた鉄の牛で堅固不屈な人にとえられます。また、「牛耕農夫前（牛は農夫の前に耕す）」という句もあり、これは牛が雑念をまじえず鋤（すき）を引くという意味で、何かウシ年に相応しい語句のようです。

因みに、中村素堂先生は辛丑の年、明治三四年五月二日生まれ、骨太で堂々とした体軀、泰然自若とした様子でした。牛にひかれて書道参りとはかり、日参した頃がなつかしく思い出されます。

昨年はコロナウイルス感染の影響で多くのイベント等が中止・延期になりました。貞香書展をはじめ、本会関係の毎日書道展、東方書展など開催されず、作品との出会いがなくなり、寂しい限りでした。

貞香会は書展の開催を中心に活動して百年を迎えようとしている団体です。私達にとって日々の鍛錬の成果を発表する場を失ったことは残念でなりません。また、会としても皆様へ情報発信等が不足し、御心配をおかけしたこと、誠に申し訳なく思っています。今後の教訓といたします。

新しい形での書展、会としてのあり方、これからの文化芸術活動の中での本会の位置づけ、発展を期するため何が必要か、会員皆様の叡知をお知らせください。まずは、お互いこの困難を乗り越える勇気を永続し、意を強くしていくことが大切です。筆を持つとう、書の力を信じて、新しい書の世界を目指して共に前進していきましょう。



丑・牛（金文）

コロナ禍の書道展



理事長 光谷素仙

二〇二〇年貞香会総合書展(二月二十一～二十六日)終了後、徐々に感染者が増え、コロナ禍の中感染拡大のリスクを抱えながらの生活を強いられている。二〇一九年十二月八日中国武漢市で原因不明の肺炎が報告され、世界保健機関(WHO)が新型コロナウイルスと公表。一月十五日、日本で初めての患者が報告された。

貞香会が予定をしていた鍊成会(二月鷺毛堂)、鍊成合宿(四月湯河原温泉)、第五十五回記念貞香書展が次々と中止になり、東方書展、毎日書道展も来年に延期となった。墨光書展(十月十四～十七日)が誌上展となり、感染防止対策を取って開催されたのは、松本宜響先生の個展(二月二十五日～三月一日)、西蓮会書展(十月九日～十三日)と素心会書展(十一月二十四～二十九日)であった。

新型コロナウイルスは現在(十二月十日)イギリスでワクチン接種が開始され、今後まだ安全性(副反応)・有効性(期間)が明確ではないが、世界各国が追従していくものと思われる。無症状感染者の対策あるいはクラスター追跡が出来ない限り「終息」することはないだろう。多くの書道会が実施しているように、ウィズコロナの時代に、展覧会を行うには感染防止対策をし、規模を縮小して開催準備を進めていかなければならない。

書道展の開催は、参加者にとって書活動の進歩や挑戦など、その人なりの目標となると共に、生きがいも生まれてくる。コロナ禍だから、なおさら鑑賞者の皆様の少しでも感動を得るような、魅力的な作品を制作することに尽きる。

高齢化社会でもあり退会者が少しずつ現れているが、理事・評議員の先生が先頭に立って、高齢者も続けてもらえるように努力し、また若手の会員を一人でも多く増加していただきたい。スマホ社会の今「手書き」文化の危機、さらに書道人の減少がささやかれ、この重大な危機を書道界全体が力を合わせて奮起しなければならぬ。二〇二〇東京オリンピックで書道関係の大きな関連イベントが計画され、コロナ禍で順延されたものの、赤平会長が出席され、国立新美術館にて無事開催できたことは幸いだった。

先日、東京都美術館の企画展である上野アーティストプロジェクト二〇二〇「読み、味わう現代の書」および「昭和の書」を見てきた。激動の時代を生き抜き、独自の表現を確立し、高齢になっても新しい表現に挑戦し続けてきた作家たちの作品である。見終わってとてもすがすがしい気持ちになり、活力をいただき、とても有意義なひとときであった。

さて、東海道線小田原駅にある中村素堂先生揮毫碑の場所が移動されたと聞き、九月の連休に、碑の場所を確認すべく出かけてみた。松本駅長の殉職碑で、碑文の作者は菊池寛である。碑はかな(仮名)交じりの楷書体で、駅から徒歩で五分位の小田原城趾公園の入口にあった。

素堂先生は『書道』(昭和四十五年九月)※「文豪のにおい」の中で「記念碑、彰徳碑と言うようなものを大小七十から八十近くも書いたかと思う。」と言っている。それらの碑はどのくらい確認・掌握されているのだろうか?今後いつのことになるかわからないが、コロナが落ち着いたら、ぜひ「碑めぐり」を行いたいものである。

貞香会は二年後に創立百年を迎える。この危機を乗り越え、一日も早く新型コロナウイルス感染が「収束」し、貞香会会員一同で明るい明日を迎えたいものである。

※『筆間雑記―中村素堂随筆集―』(昭和六十三年・貞香会発行)所収

令和二(二〇二〇)年度 貞香会総会報告

令和二年度定期総会は、一月二十五日(土)午後一時から、東京都美術館講堂において開催されました。総会には顧問の中村素岳先生、荒木大樹先生、参与の後藤鶴台先生、大野宜白先生、ご臨席のもと、三十九名の出席者で開催となりました。

総会は、小峰紀州事務局次長の司会で進められ、開会のことばを光谷素仙理事長が行い、赤平泰処会長が挨拶をされました。「本会も出展数が減少して、高齢化の問題が取り上げられ、ねずみの年は子孫繁栄、これにあやかり会員が増えていくよう、我々が色々な試みをしていかななくてはならない。オリンピックの前に今回は五輪のモチーフを作成し、新しい試みを行った。また、歳を取ることはすばらしいことであり、勉強不足が低迷の理由である。文徴明は八十歳を過ぎて世にすばらしい作品を出している。歳を吹き飛ばし来年、再来年に向けて、本日の総会の議題についてご審議をお願いしたい」との旨を述べられました。

次に、委任状の確認を司会より報告があり、会員数二二六名の内、総会出席者三十九名、委任状提出者一三四名 合計一七三名になり、総会成立と報告がありました。議長には大野宜白参与が選任され議事に入りました。

まず、第一号議案の平成三十一年度事業報告が根本泰邱事務局長より、第二号議案の平成三十一年度決算報告が高橋珠翠理事より、その後、会計監査報告が杉戸泰岳監事より行われ、一括承認されました。次に、第三号議案の令和二年度(二〇二〇)年度事業計画案が根本事務局長より説明され、承認されました。

続いて、第四号議案の令和二年度(二〇二〇)年度予算案が高橋珠翠理事より提案され、一括承認されました。

その他の議事については特になく、大野議長より締めかけの呼びかけに拍手をもって、議事が終了したことを宣しました。

最後に、坪内雪山副理事長の閉会のことばで締めくくられ、総会が無事終了しました。

続いて午後五時から、懇親会に移り、東京都美術館内レストラン『サロン』において開催されました。八十名程の参加者が集い、その席上にて、総合書展で受賞された方々が喜びの声を語るなど、盛会のうちに滞りなく終了しました。

【二〇一九・二〇二〇年度役員名】

〔顧問〕	荒木大樹	中村青藍	中村素岳
〔参与〕	大野宜白	後藤鶴台	中谷春径
	松本宜響	室生大韻	八木舜堂
	松本南城	加茂泰玄	中村大如
〔参事〕	平林大舒	二木秀蔭	山根紅樹
	赤平泰処		
〔会長〕	光谷素仙		
〔理事長〕	奥山泰嶺	坪内雪山	
〔副理事長〕	根本泰邱		
〔理事・事務局長〕	飯野彩心	今井泰篁	金子正信
	小峰紀州	鈴木蓮徑	高木素近
	富田青軒	永井静軒	中村香柯
	三浦看山		半田桃香
〔監事〕	長尾泰邨	杉戸泰岳	
	秋田谷岱空	飯野柳釉	石原翠山
〔評議員〕	加地香泉	末永江春	海野蒼秀

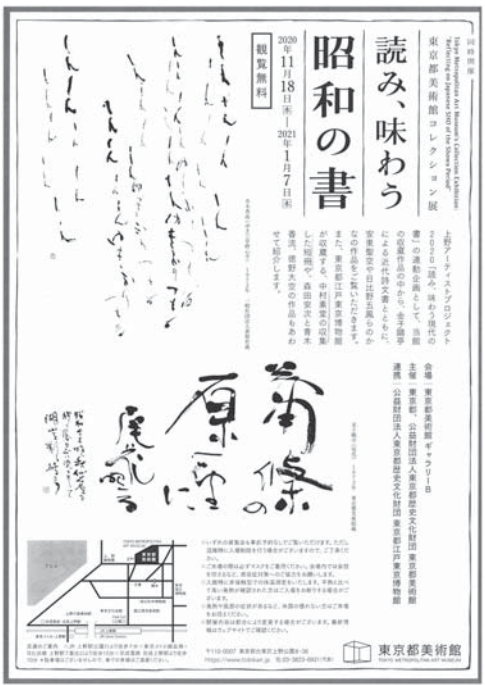
中村素堂先生 生誕百二十年に寄せて

中村素堂先生は、一九〇一年(辛丑)生まれ、二〇二一年は二回目の辛丑年を迎え、生誕百二十年の年にあたり、二〇二〇年度中村素堂先生の功績を顕彰いたします。

「読み、味わう昭和の書」展

2020年11月18日
2021年1月7日
東京都美術館

コロナ禍の中、二〇二〇年十二月暮れから翌年お正月にかけて、東京都美術館コレクション展「読み、味わう昭和の書」が開催された。



この展覧会では、中村素堂先生が収集された歌人・書家などの著名人の短冊作品二十点(現在、江戸東京博物館収蔵)が展示された。その短冊から、素堂先生の探求心の深さを識ることができた。

展示された短冊は、橘千蔭、上田秋成、大田垣蓮月、多田親愛、大口周魚、阪正臣、与謝野鉄幹、若山牧水、与謝野晶子、北原白秋、相馬御風、斎藤茂吉、石井柏亭、吉井勇、釈超空、小杉放庵、窪田空穂、柳原白蓮、室生犀星、河東碧梧桐、以上二十名により書かれ、大変見ごたえのある作品であった。

古関裕而先生との思い出

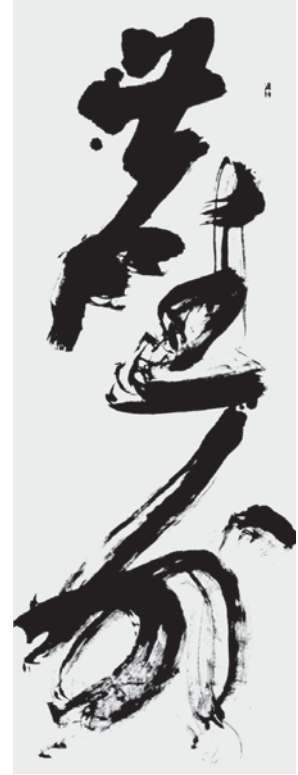
二〇二〇年春、NHKの朝ドラは、福島県出身の古関裕而さんをモデルにした内容で、昭和の時代、日本の音楽界をけん引した第一人者として放映された。そんな古関裕而先生と一緒に、中村素堂先生は、中学校の校歌を作った歴史がある。

昭和四十六年に、現在の愛知県西尾市立吉良中学校より依頼を受け、中村素堂先生が作詞をし、古関裕而先生が作曲をしたのだ。この中学校では、現在でもこの校歌が歌われている。このように、今年最も注目を浴び話題となった古関先生と、素堂先生が校歌を合作されたことは、我が真香会にとっても大変名誉なことである。

赤平泰処会長は、当時のことを「この時、中村先生は校歌のお披露目の式典に招待されて、古関裕而先生と一緒にいた。」と回想されていた。

校歌を作られたのは、ちょうど五十年前である。半世紀たっても古関裕而先生・中村素堂先生の栄光はいまだに輝き続けている。書、ことは、文字を伝える伝道者として中村素堂先生の遺された功績は、書ばかりでなく、漢詩、歌、作詞など様々な分野にも秀でていたことを改めて知り、敬服するばかりである。

吉良中学校ホームページより



赤平泰処先生

苦枝綴玉育翠号以枝上日宿実
 表和逢難角其台無云自唐吟
 升一即不心慣松沙遠但暗憶江

可江此悲俗一環月火揮一其化作
 此色幽初行記深宮在在事一那入
 心睡表一我近懶緑其以表台空不

智盈早燕去挑空屋遠表一竹隨
 波表又一仰怨玉就長曲等寸任舒
 重覽幽才一己不心寫横幅 高橋珠翠先生

高橋珠翠先生

万国を
愛する

万国を
愛する

上野泰僊先生

イタリアという国に僕は惚れ込んでいて、良いところも悪いところも両方好きなのだ。人間が均一でなく個性が人間がいるところが素晴らしい。日本とミックスして生まれるものには他の国とのミックスでは出てこない面白いところがあるように感じる。日本とイタリアに对照的なところがあるせいだろうか。何かでも僕は元々にも生まれることがあったとしても日本人がいい。僕は日本人であることを誇りに思っている。 貞香会総合書展 選抜大作展

武内陽華先生

太白雪若石之星辰上森列去
天之百里濶海與世絶中宵弥
髮翁披巾卧松雪不笑尔亦
買梅在岩穴我未逢道人長
跪向窈冥恍惚正神玉齒咬以
藥說銘骨傳其誤疎身之電
臍作事不可及矣思之情熱
吾將嘗丹砂水眞其人 貞香会

渡辺蒼秀先生

20 貞香会総合書展

《ダイジエスト》

◎選抜大作展を併催

2020年度は、各書展において輝かしい賞を受賞された方々による選抜大作展を併催した。

〔出品者〕

赤平泰処先生(第71回毎日書道展 文部科学大臣賞)

高橋珠翠先生(第71回毎日書道展 会員賞)

上野泰僊先生(第71回毎日書道展 毎日賞)

武内陽華先生(第54回貞香書展 特別賞・審査会員推挙)

渡辺蒼秀先生(第54回貞香書展 特別賞・審査会員推挙)

◎席上揮毫を開催

展示会場にて、1月26日(日)午前11時より高橋珠翠先生、上野泰僊先生、武内陽華先生による席上揮毫が開催された。開始前から大勢のギャラリーが集まり、それぞれ先生方が筆さばきを披露した。最後に楽しいトークを交えながら作品解説が行われ、笑いと拍手の中、大盛況に終わった。



席上揮毫

(上野泰僊先生・高橋珠翠先生・武内陽華先生)



高橋珠翠先生 揮毫後解説

◎作品解説を実施

1月25日(土)午後1時から、展示場内にて根本事務局長司会進行で、大作展出品の先生方による作品解説を行った。



上野泰僊先生 解説

◎懇親会を開催

1月26日(土)午後5時から、美術館内レストラン『サロ』にて懇親会を開催。会員、出品者合わせて80名ほどが参加し、景品が当たるなど、大いに盛り上がった。



赤平会長 懇親会挨拶



光谷理事長 景品受領

2020年度、規定により左記の方が昇格しました。
おめでとーございませう

◎会友昇格者

鈴木彩香 壺井尚子 邊見順子 毛利佳峰 西山貴彩



武内陽華先生 解説

20 貞香会総合書展

1月21日～26日
東京都美術館



一般部授賞式のもよう



教育部授賞式のもよう



挨拶に立たれる赤平泰旭会長

第一部役員展の出品は128点、第二部は600点（師範部6点、一般部126点、教育部218点、半紙部250点）。25日午前に教育部、午後一般部の授賞式がとり行われ、講堂に100名以上の受賞者が参列した。挨拶に立った理事長の光谷素仙先生は「（伝統ある）都美術館に展示されることはすばらしいこと。だれでもいいというわけには行かない」と祝福された。会長は「夏の55回記念展に是非出品を」と呼びかけられた。

20 貞香会総合書展 受賞者

師範部		一般部		教育部		特別賞	
貞香会会長賞 雑賀 誠芳	清水 秀峰 田村 陽彩 西山 貴彩	鈴木 彩香 毛利 佳峰	高木 快道 鶴見 侑樹 宮村 佐江子	書範社賞 小林 美子 中上 和美 邊見 順子	専心社賞 岡 聖子 星 文子 渡邊 千恵子	特選 荒木 姫花 高田美佐江 大河内秀丸	準特選 高木 春嶺 堀井 晴雅 長田 信海
原 美鈴 長瀬 亮一 奈良田有亮 中村 颯 早シフネド	山内 朋子 山口美津子 古宇田順一	荒井 良雄 中谷 里菜 合田奈乃美	杉本 知子 深谷 節子 萩原 悠彩	伊藤 啓星 根本 昌子 飯塚ふみ子	佐々木 翠 大崎 きよ 黒須 蕙心	市村 順子 山中 恵理 山田 晏奈	久保田千春 平良なな子 青山 さゆ
稲見 尹弘 飯塚 好孝 佐々木 克子 田杭 敬心 那須 江楓	鈴木 翠鴻 高安のり子 吉澤 春美	宮本菜緒子 大戸 幸江 滋野 綾菜	藤原 優子 大石加代子 増田 尚雨	加藤 幸三 山本 幸三 石川 高子	野口 和子 吉岡 紀子 高濱 夏彩	仲井 月影 青木 梨花 田窪 青蘭	菅名 佑珠 山口 孝男 菊地 真緒
宮田 寛子 住谷 寛子 海藤 優二 笹目 昭二 佐藤 広美	鈴木 千遥 高橋 美彩 本橋 千遥	矢代 愛結 張 世亜 高久 愛美	加茂田真緒 武澤 朱里 三上 美雨	早川 美紗 谷田貝莉子 加藤 雪乃	奥備 優愛 稲村 彩乃 齋藤 夕理	荒木 天花 内山 彩音 谷田貝美桜	栗栖 かのか 海老原 耶々 泉田 紬音
松本 千尋 片桐 美心 関口 初橙 佐藤 美穂 大輪 七海	北原 朱里 江波戸実歩 金野 朱里	岩本 彩愛 長田 夏美 宮永 柚乃	神賀 里緒 宇賀持里緒 齋藤 千紘	野間 美羽 藤村 蘭佳 大塚 千恵	伊藤 光心 佐藤 心優 上野 心優	石川 杏樹 玉城 千恵 和城 花織	水野 華穂 小林 和華 住谷 和美
山田 翔矢 渡部 紗幸 大庭 夢結 小川 陽希 森 陽希	渡邊 陽希 森 陽希 北原 朱里	岩本 彩愛 長田 夏美 宮永 柚乃	藤原 優子 大石加代子 増田 尚雨	早川 美紗 谷田貝莉子 加藤 雪乃	奥備 優愛 稲村 彩乃 齋藤 夕理	荒木 天花 内山 彩音 谷田貝美桜	栗栖 かのか 海老原 耶々 泉田 紬音
荒木 拓翔 川野 俊太 稲見 愛蘭 金田 愛蘭 和氣 愛蘭	永吉 琴葉 金子 遼大 間宮 航宇	森田 友妃 太田 友妃 並木 友妃	飯島 悠翔 稲葉 幸星 長橋 香織	佐藤 悠翔 大野 悠翔 渡邊 悠翔	伊藤 悠翔 佐藤 悠翔 上野 悠翔	石川 悠翔 玉城 悠翔 和城 悠翔	水野 悠翔 小林 悠翔 住谷 悠翔
小早志 菜南 根本 心春 根本 悠香 林 悠香 湯本 悠香	大日方 千紗 安部 来未 杉田 奏音	森田 友妃 太田 友妃 並木 友妃	飯島 悠翔 稲葉 幸星 長橋 香織	伊藤 悠翔 佐藤 悠翔 上野 悠翔	伊藤 悠翔 佐藤 悠翔 上野 悠翔	石川 悠翔 玉城 悠翔 和城 悠翔	水野 悠翔 小林 悠翔 住谷 悠翔

◎現代の書 新春展 ― 今いきづく墨の華 ―

2020年1月3日(金)～9日(木) 銀座で開催された2020
現代の書新春展に、会長の赤平泰処先生(和光ホール)と、顧問の中
村素岳先生(セントラルミュージアム銀座)が出品された。



赤平泰処先生



中村素岳先生

◎毎日チャリティー書展

2020年1月4日(土)～9日(木) 銀座で開催された毎日
チャリティー書展に、会長の赤平泰処先生、顧問の中村素岳先生、
事務局長・理事の根本泰郎先生が出品された。



赤平泰処先生



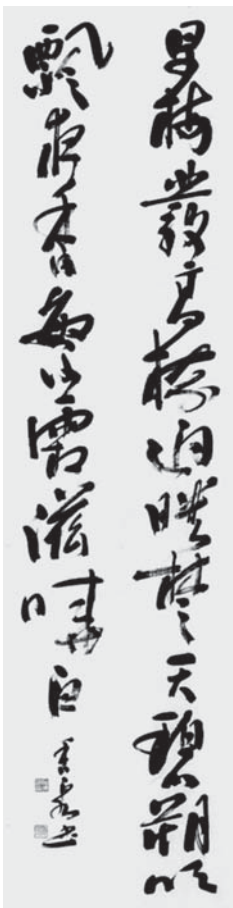
中村素岳先生



根本泰郎先生

◎毎日書道展新会員作家展

2020年度より毎日書道展の会員に昇格する作家の展覧会
が開催され、第2期の3月16日(月)～21日(土)に、評議員の
加地香泉先生が出品された。新型コロナウイルス感染防止対策
により、時間短縮で開催された。



加地香泉先生

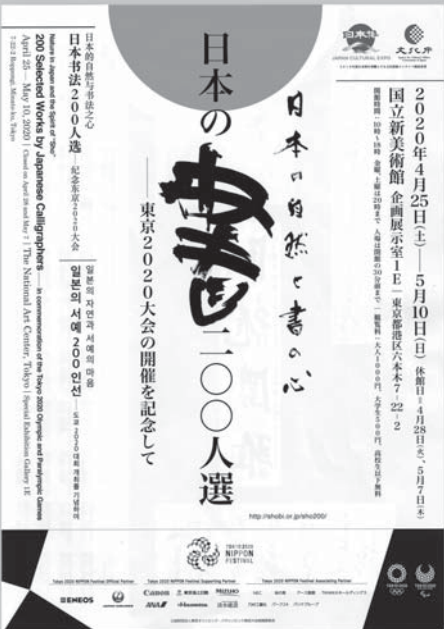
◎日本の書 二〇〇人選

―東京2020大会の開催を記念して

4月25日(土)～5月10日(日) 国立新美術館にて開催される予定が、新型コロナウイルス感染症の影響により、6月11日(木)～6月21日(日)に延期され開催、会長の赤平泰処先生が出品された。会場では、QRコードを読む込むと、各作家の積文と作品制作意図が表示されるといふ新しいスタイルの展示方法が導入されていた。また、代表作家による席上揮毫の様子がビデオ放映され、古い文房四宝などが展示されて見応えがあった。



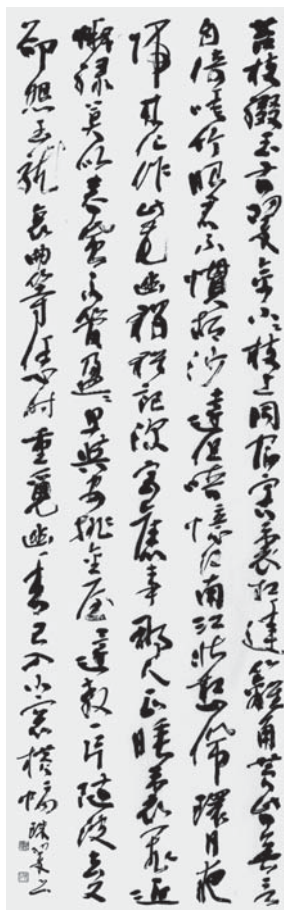
赤平泰処先生



◎第51回現代女流書一〇〇人展

2020年春に国立新美術館にて開催される予定が、新型コロナウイルス感染症の影響により、7月22日(水)～8月2日(日)に延期され開催、理事の高橋珠翠先生と、理事・事務局次長の鈴木蓮徑先生が出品された。

この展示会は、後日パソコン上で見ることが可能になり、まるで会場に行っているかのような画像でバーチャル化された。会場に行かなくとも、リアルに作品の位置と大きさを体験することができ、コロナ禍の中で考え出された新しいスタイルの展示方法が構築された。



高橋珠翠先生

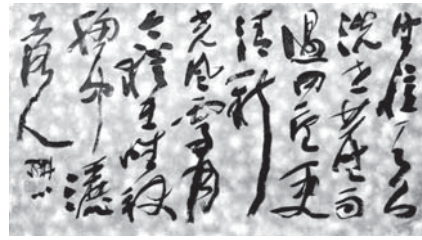
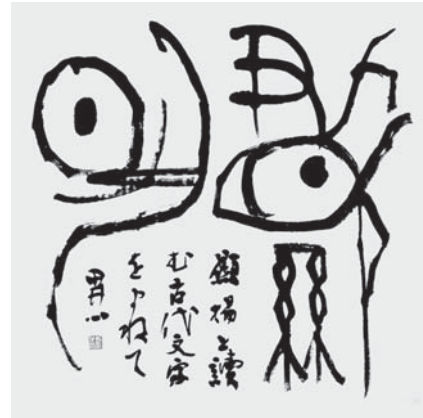


鈴木蓮徑先生

長谷川耕心先生遺墨展

元貞香会理事長の長谷川耕心先生の一周忌を記念して、令和2年2月19日（水）～2月26日（水）、淑徳大学東京キャンパスにて遺墨展が開催され、二十九点の作品が展示されました。

長谷川先生は、学校経営のご多忙の中、寸暇を惜しんで作品制作に取り組み続けていたことですが、どの作品も妥協のない作品群で、丹錬された作品の数々を前に、改めて長谷川先生の書家として、また教育者、僧侶として情熱をもって生きてこられたこと、そして書に向かう姿勢とそのお人柄を感じる遺墨展でした。



〈2020年度事業報告〉

主な展覧会

○2020年度定期総会

日時…2020年1月25日(土) 13時～
会場…東京都美術館講堂

○'20 貞香会総合書展

会期…2020年1月21日(火)～26日(日)
会場…東京都美術館
※役員による「五輪の書」扇面小作品展併催
授賞式…1月25日(土) 教育部11時～
一般部15時～ 美術館講堂

懇親会…1月25日(土) 17時～美術館内レストラン『サロン』
席上揮毫…1月26日(日) 11時～12時 展覧会場内

大作展作品解説…1月26日(日) 13時～14時 展覧会場内

○第62回東方書展

新型コロナウイルス感染拡大のため開催延期

○第55回貞香書展

新型コロナウイルス感染拡大のため開催延期

○第72回毎日書道展 東京展

新型コロナウイルス感染拡大のため開催延期

○東京都美術館コレクション展「読み、味わう昭和の書」

会期…2020年11月18日(水)～
2021年1月7日(木)

会場…東京都美術館

内容…江戸東京博物館収蔵の中村素堂先生収集短冊作品二十点展示

洗碑会

新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止

錬成会

○錬成会(日帰り)

新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止

○錬成合宿

新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止

貞香会後援の展覧会

○松本宜響書展

会期…2020年2月25日(火)～3月1日(日)
会場…銀座・東京鳩居堂4階画廊

○第51回墨光書展

会期…2020年10月14日(水)～17日(土)
※誌上展に変更

○第34回西蓮会書展

会期…2020年10月9日(金)～13日(火)
会場…銀座かねまつホール5階

○第3回素心会書展

会期…2020年11月24日(火)～29日(日)
会場…東京銀座画廊8階

※この他、貞香会会員が活躍する展覧会の情報は、貞香会ホームページのインフォメーションにて掲載しています。詳しくは、そちらをご覧ください。

〈2021年度行事予定〉

■主な展覧会

○2021年度定期総会

日時：2021年1月20日（水）15時～
会場：東京都美術館講堂

○'21貞香会総合書展

会期：2021年1月20日（水）～26日（火）
会場：東京都美術館

授賞式

新型コロナウイルス

懇親会

席上揮毫

感染拡大防止のため中止

○第62回東方書展

会期：2021年3月25日（木）～3月31日（水）
会場：東京都美術館

☆企画展示：「東方書道院選抜展」

貞香会より赤平泰処先生、中村青藍先生、
根本泰邸先生出品

同人推挙・作品解説：3月25日（木）11時～
授賞式：3月27日（土）11時～ 美術館講堂

「東方書道院選抜展」・作品解説

3月27日（土）14時30分～

懇親会：中止

東方書道院ホームページ www.tohoshodouin.com

○第55回貞香書展

会期：2021年6月23日（水）～7月5日（月）
会場：国立新美術館3A

講演会

席上揮毫

授賞式

作品解説

懇親会

後日お知らせします

○第72回毎日書道展 東京展

会場：国立新美術館
会期：2021年7月8日（木）
～8月1日（日）

☆企画大作展：「現代日本の書2020選抜展示」

貞香会より鈴木蓮徑先生出品

※漢字I類審査員は、長尾泰邨先生です。

会場：東京都美術館

会期：2021年7月18日（日）
～7月24日（土）

表彰式：

7月18日（日）13時～

ザ・プリンスタワー東京（予定）

※各地方展、巡回展については、毎日書道会の
ホームページをご覧ください。

毎日書道会ホームページ

<http://www.mainichishodo.org>

■洗碑会

日時：2021年5月2日（日）

16時～ 受付

16時30分～ 洗碑会

会場：文京区小石川・傳通院

内容：創設者 中村素堂先生の記念碑「如是我聞」
を洗い清める行事。毎年、中村素堂先生の
誕生日に開催しています。2021年度は、
素堂先生の120歳の誕生日の年にあた
ります。どなたでも参加できます。ぜひ、
ご参集ください。

■錬成会

○錬成会（日帰り）

日程：2021年

2月13日（土）・14日（日）

9時～17時

会場：鷺毛堂錬成会場

さいたま市南区文蔵4-27-3
内容：毎日書道展・貞香書展に向けて
の作品制作

■貞香会後援の展覧会

○第35回西蓮会書展

会期：2021年10月8日（金）

～12日（火）

会場：銀座かねまつホール5階

○第52回墨光書展

会期：2021年10月13日（水）

～17日（日）

会場：春日部市民文化会館

○中村大如書展

会期：2021年11月5日（金）

～11月9日（火）

会場：銀座かねまつホール5階

〈事務局だより〉

◇年会費について

- ◎2021年度の年会費は、5月31日(月)までにご納入をお願いします。
- ◎2020年度以前の年会費が未納の方は、お早めにお振込みをお願いします。

◇第55回貞香書展の作品締切

2021年度は、5月14日(金)までに各表具店に作品を搬入してください。締切厳守をお願いします。

◇住所変更について

住所・連絡先など変更がある方は、貞香会事務所までFAXまたはハガキなどの書面にてお知らせください。

◇会員の方の関係書道展について

会員の皆さんが活躍する書道展や催しものなどの情報を、貞香会事務所までお寄せください。展覧会の案内ハガキなど詳細をご郵送またはメールにて添付いただければ、貞香会ホームページのインフォメーションに掲載いたします。

◇ご意見・ご要望など

貞香会に関連する展覧会や行事などで、会員の皆さまよりご意見・ご要望などありましたら、貞香会事務所まで書面にてお寄せください。

❖表紙・中村素堂先生作品より

【編集後記】

❖二〇二〇年は、新型コロナウイルスのため、貞香書展をはじめ様々な行事が中止となりました。二〇二一年度は、感染防止対策をしながら、開催していく予定です。

貞香会会報第10号をお届けいたします。会員の皆様の益々のご健筆とご健康を祈念申し上げます。

〈泰邸〉

❖二〇二〇年度は、東京オリンピックが延期となり、スポーツ・文化・あらゆる社会活動が一時閉鎖されました。まだまだ復帰には時間がかかりますが、気持ちだけは、負けないようがんばりましょう！

〈彩心〉

❖未曾有のウィルスが発生し、大変な開幕となった二〇二〇年、家で過ごす時間が長くなる中、筆を持つことで心が安らぎ、心の支えとなりました。打ち込めることがある人は強いと改めて実感、この強さをバネに困難を乗り越えていきましょう。

〈茜逕〉

令和二年度(二〇二〇年)

会報(第十号)

発行日 令和三年三月二十二日(月)

編集・発行 貞香会

東京都江東区新大橋一五四上二一
根本方

電話〇三(六二八四)〇四六六

印刷・製本 富寿印刷

東京都文京区大塚三三六九

電話〇三(三九四四)一一四一

